

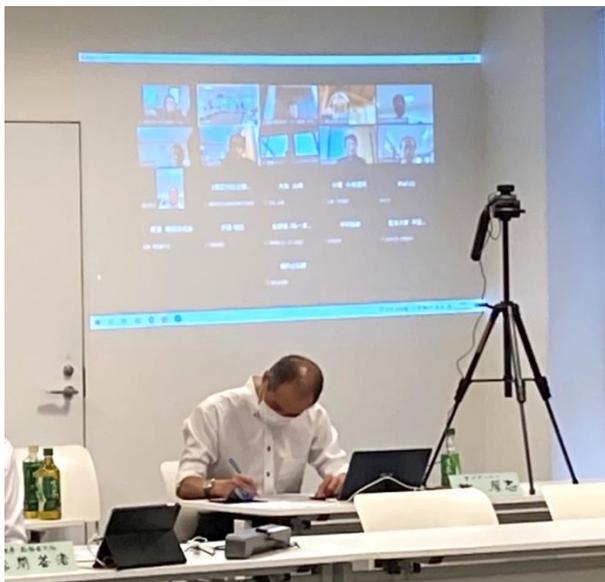
(一財)長野県バレーボール協会 第94回理事会・第15回評議員会・第23回加盟団体代表委員総会

ハイブリッド形式で開催！

【県総務委員長 赤間善浩】

令和3年度の事業報告や決算・監査報告を審議する理事会・評議員会とその内容を報告する加盟団体代表委員総会が6月11日(土)、塩尻市市民交流センター(えんぱーく)において開催されました。

冒頭、船木会長からは「開催中のネーションズリーグ2022は、男女共に良い戦いをしている。バレーボール人気が再び盛り上がってくることを願っている。国内のコロナ感染は、まだ気を抜くことはできないが、少し出口が見えてきた。今年はたくさんの大会が実施できるものと思う。県内の各カテゴリーのチームの大活躍があつてこそ、長野県バレーボールは注目され、競技人口も関係人口も増えていくと思う。県協会としても一生懸命支え、バレーボールを中心としたスポーツで長野県を盛り上げていきたい。」との挨拶がありました。



議案の事業報告では、事業概況報告に続き各地区や各委員会からの報告がありました。昨年、松本市で開催された北信越国体は少年男女が本国体の出場権を得ましたが、三重国体が中止になったことなども報告されました。コロナ禍においてもバレーボールの機会を確保するため、各加盟団体の御尽力により、感染症対策を万全に講じた上で大会を開催することができました。

また、決算報告においては、財務体質改善の取組みとして、メール・WEBの活用による経費の縮減、オリジナルマスクやポロシャツの販売による収益増などが報告されました。

尚、今回この三つの会議は、いずれもWEB参加を含むハイブリッド形式で開催されましたが、WEB環境をご提供いただきました関係の皆様へ感謝いたします。

有難うございました。

【令和3年度 事業概況報告】

新型コロナウイルスのまん延に加えて、ロシアによるウクライナへの侵攻は、世界の政治経済に大きな打撃を与えると共に、スポーツ界にも暗い影を落とすつつあります。一刻も早い終結を心から祈りたいと思います。

さて、異例の無観客で開催された東京オリンピックは、日本代表の健闘・善戦も他競技の好成績の前にその存在感を十分に示すことなく寂しさの残るものとなりました。加えて、その後の日本バレーボール協会の不祥事により、バレー界においてはモヤモヤ感の残る一年となってしまったと思います。新体制の下でバレー界が一体となり、巻き返しに転じなければならないと強く感じています。

県内においては5年振りの北信越国体が松本市で開催され、少年男女が見事本大会への切符を手に入れました。最終的に三重国体は中止となりましたが、第五派の襲来で県内コロナ感染者が急増する中で、開催に漕ぎ着けていただきました地元松本協会ははじめ関係各位に改めて感謝いたします。

コロナ下においてもジュニア世代については前年度に比べ比較的多くの大会が開催され活性化がみられました。一方実業団・クラブ・ソフト・ビーチ・大学・ママさんなど一般・社会人部門については中止される事業が

多く、更なるチーム数の減少や競技人口減少に拍車が掛かるのではないかと懸念されます。今後ここへのテコ入れ策が急務と考えます。

教員の働き方改革に伴う中学部活受け皿づくりは、県下各地でジュニアクラブ結成への具体的な動きが始まり、13 地区協会関係者を招集しての第 1 回情報交換会(12/19)においては9 団体から事例が紹介されました。令和 5 年度からの社会体育への段階的移行が迫るなかで、新たに創設したプロジェクトチームを推進エンジンとし、更に活性化を図る必要があります。

2028 国スポ・全障スポ大会に向け、当該世代の選手発掘手段と JOC 強化U13 の創設など、一貫指導体制構築に向け具体的な動きが始まりました。知的障がい者チームの立ち上げと強化については、新たにパラバレー委員会を創設し、男女チームの指導体制づくりに着手しました。

Vリーグにおいては、VC長野トライデンツが苦しみながらもV1 残留を決め、ルートインホテルズはV1 昇格を逃したものの、V 参戦 3 年目にしてV2 初優勝を成し遂げ順調に強化が進んでいます。V3 の長野ガロンズは残念ながらV2 昇格を逃しています。関係の皆様にはコロナ下にも拘わらず、V2 女子ファイナルを含め延べ 31 日間の大会運営にご協力いただき改めて感謝致します。今後Vチームの存在が県下バレー界の更なる発展に繋がるよう、Vチームとの連携をより深めて行くことが肝心と考えます。

財務体質改善については、WEB 会議の導入など経費削減に努める一方で、オリジナルポロシャツ・マスク販売では約 20 万円の収益となりました。今後、役員のみならず県下約 9 千人のバレーボーラー向けグッズの開発など、更なる工夫で収益増に取り組む必要があると思います。

今後とも会員の皆様のご健康をお祈りしますと共に、絶大なるご協力をお願い致しまして、事業概況報告とさせていただきます。

第 17 回国民体育大会バレーボール競技(成年の部)長野県予選会

長野☆GaRons が昨年の雪辱を果たして悲願の初優勝を飾る

【佐久平協会理事長 宮澤智昭】

6 月 12 日(日)、標記予選会が佐久穂町しらかば社会体育館に於いて開催されました。

男子決勝に勝ち上がったのは飯山市体協と長野☆GaRons。昨年と同じ対戦カードとなりました。

第 1 セットは終盤まで一進一退の攻防。長野☆GaRons がキャプテン福地のスパイクでリードするも、飯山体協は栗木の多彩なスパイクですぐさま追いつくという展開でした。しかし終盤、長野☆GaRons がセッター高井のサーブで飯山市体協を連続して崩し、第 1 セットを先取しました。

第 2 セットも序盤は一進一退の攻防でしたが、中盤、抜け出したのは飯山体協。レフト清水のスパイク、リベ



ロ夏目のレシーブエースなどでリードしました。長野☆GaRons もキャプテン福地のスパイクで粘りを見せましたが、最後はオポジット小林の強烈なスパイクが決まって、飯山体協がこのセットを奪い返しました。

勝負のファイナルセット、中盤までは一進一退で手に汗握る展開が続きました。しかし、ここから抜け出したのは長野☆GaRons。福地、浅田の連続ポイントでリードし、その後もこの両エースのスパイクで得点を重ねた長野☆GaRons が第 3 セットを制して勝利しました。

長野☆GaRons は昨年の雪辱を果たし、悲願の初優勝を飾りました。

第 58 回北信越高等学校バレーボール選手権大会

女子は都市大塩尻が 3 連覇 男子は松本国際が 10 回目の栄冠を手中に!

県高体連専門部委員長 中澤健祥】

標記大会は、今年度長野県での開催となり、松本市・松本市総合体育館、塩尻市・ユメックスアリーナにて、6 月 17 日(金)に代表者会議と開会式、18 日(土)・19 日(日)に試合という日程で、行われました。本県からは令和 4 年度長野県高等学校総合体育大会を勝ち抜いた男女各 4 校が出場しました。コロナ禍での開催ということで無観客、入場者の人数制限、検温、消毒等、感染症対策を講じての大会となりました。



ジャンピングサーブが効果的に決まり、抜け出した松本国際が 25-20 で勝利し、2大会ぶり 10 回目の優勝を果たしました。

女子は、飯山高校、飯田女子高校、東海大諏訪高校が 1 回戦敗退という結果でした。残る、県総体優勝の東京都市大学塩尻高校（以下：都市大塩尻）は安定感のある守りからのコンビバレーで決勝戦まで危なげなく駒を進めました。福井工大福井との決勝戦も効果的なセンター、ライト攻撃で流れをつかんだ都市大学塩尻が終始圧倒して 25-16、25-17 で勝利。3大会連続 7 回目の優勝を果たしました。

男子は、長野日大高校が 1 回戦敗退、岡谷工業高校は 2 回戦敗退という結果でした。松商学園高校は石川県 1 位の金沢商業高校を退け、ベスト 4 に進出しました。準決勝で福井県 1 位の福井工業大学附属福井高校（以下：福井工大福井）にセットカウント 0-2 で敗れて 3 位という結果となりました。残る県総体優勝の松本国際高校（以下：松本国際）は、順調に勝ち上がり、決勝で福井工大福井と対戦しました。第 1 セットは、一進一退の攻防でデュースの連続から 38-40 で福井工大福井が先取しました。続く第 2 セット、松本国際はレーシーブからの高速コンビバレーで勢いに乗り、25-17 で取り返しました。セットカウント 1-1 で迎えた第 3 セット、中盤まで一進一退のゲーム展開となりましたが、終盤



天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 長野県ラウンド

男子は長野教員 女子は東海大諏訪が何れもフルセットの激戦を制して北信越へ

【諏訪湖周辺協会競技委員長 伊波智仁】

まだまだコロナ禍で予断を許さない状況の中、観客を入れて標記大会を開催出来ましたのも、そして成功裏に終わることが出来ましたのも、皆様のご理解、ご協力があったからこそと、開催地として先ずもって深く御礼申し上げます。



男子 10 チーム、女子 6 チームの各カテゴリーより選ばれたチームが岡谷、下諏訪において熱い熱戦を繰り広げました。

男子決勝は、長野教員とケンタカムカムの対戦となりました。お互いクラブチーム同士で、男子らしいパワーと多彩な技が繰り広げられる戦いになりました。1 セット目は流れを掴んだケンタカムカムが奪取しましたが、2 セット目から長野教員が徐々に持前の粘りのある戦いを繰り広げ、セットを取り返しました。最終セットも互いに譲らずの攻防の末、長野教員が平成 19

年以來の優勝を手中にしました。

女子決勝のカードは、東海大諏訪高校対 Nagano. Spirits. 高校対クラブと、この大会ならではの対戦となりました。1 セット目は東海大諏訪高校に硬さが出てしまい、逆に Nagano. Spirits はテクニックを前面に出してこのセットを先取しました。このままいくのかと思われましたが、前回覇者の東海大諏訪高校は徐々にコンビバレーがかみ合い、セットカウント 1 対 1 のイーブンへ。最後は、お互い粘りのバレーを見せましたが、勢いそのまま東海大諏訪高校が押し切り、2 年連続優勝を果たしました。

男女優勝チームは 9 月 24 日（土）・25 日（日）、新潟県上越市で開催されます北信越ブロック大会に出場します。両チームの活躍を期待したいと思います。

男子は松本国際が王座を奪還！ 女子は都市大塩尻が連覇を果たす！

【県高体連専門委員 岡本雅仁】

長野県高等学校総合体育大会バレーボール競技大会が、6月4日（土）から6日（月）にかけて長野市真島総合スポーツアリーナ（ホワイトリング）を中心に行われました。今大会も新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの大会のため、1日目に1回戦、2日目に2回戦と準々決勝、3日目に準決勝・決勝及び3位決定戦の日程で行われました。



男子決勝は、昨年度新人戦の優勝の松本国際高校（以下「松本国際」と）と新人戦の王者奪還を狙う岡谷工業高校（以下「岡谷工」）の対戦となりました。

第1セット序盤は、松本国際の高速コンビ攻撃に対して、岡谷工業は場面状況で入れ替わるセッターをコートに3人置き、多彩な攻撃力で試合を展開していきました。しかし決定力に優る松本国際は、岡谷工にリードを許さず、そのまま勢いに乗って連続得点を重ね、25-19で1セット目を制しました。

続く第2セットも、硬さのとれた松本国際がチームカラーの高速コンビ攻撃で岡谷工を圧倒して17-10としましたが、岡谷工も粘りあるレシーブと高さのある攻撃で18-16と2点差に迫りました。しかし終盤、岡谷

工にミスが続き、これを契機に優位に立った松本国際が一気に得点を重ねて、最後は25-18で勝利。3年ぶり10回目の優勝を果たしました。

女子準決勝には東京都市大学塩尻高校（以下「都市大塩尻」）、東海大学附属諏訪高校、飯田女子高校（以下「飯田女子」）、飯山高校が勝ち上がりました。新人戦からは3校が入れ替わるといふ激戦の大会でした。

決勝は2年連続の優勝を目指す都市大塩尻と昭和49年以来、久々に決勝の舞台に戻ってきた飯田女子の対戦となりました。

第1セット、都市大塩尻は序盤からサービスエースや速い攻撃で相手を崩してリードを広げました。対する飯田女子はエースにトスを集め、都市大塩尻の高いブロックに苦しみながらもブロックアウトなどで得点し、徐々に本来の力を発揮し始めました。しかし、中盤以降も都市大塩尻の速いコンビバレーが炸裂。25-15で都市大塩尻が先取しました。

第2セットは序盤、飯田女子はエースのスパイクが決まって好調な滑り出しを見せました。一方、都市大塩尻のエースも奮起し、レフトからのスパイクが決まり始めました。中盤、都市大塩尻はセンターから速い攻撃を次々に決め、得意のリズムで試合を進めました。飯田女子も必死に食らいつくものの、終盤まで都市大塩尻のリズムを崩すことができず、2セット目も25-10で都市大塩尻が連取。2年連続8回目の優勝を決めました。しかし、中学時代に県選抜チームに選ばれたような選手がほとんどいない中で、強豪の争いに割って入った飯田女子の健闘は大いに称えられるものです。

さてこれにより、男子優勝校が香川県、女子優勝校が徳島県で行われる全国高等学校総合体育大会への出場権を得ました。また、男女各上位4チームが、6月17日（金）～19日（日）に長野県で行われる北信越大会への出場権を得ました。各チームの健闘をお祈り致します。



男子:小布施スポ少は19回目 女子:豊科JVCと混合:県VESPAは初優勝!

【県小連理事長 西澤悦郎】

標記大会を6月26日(日)、軽井沢風越公園総合体育館をメイン会場として男子8チーム、女子16チーム、混合2チームの参加で開催しました。

男子は小布施スポーツ少年団が19回目の優勝、女子は豊科JVC、混合は県VESPAが共に初優勝を果たし、この3チームが、8月9日(火)から12日(金)に東京体育館を主会場として首都圏で行われる全国大会の出場権を得ました。

以下、各優勝チームのコメントです。

《 小布施スポーツ少年団監督 鈴木直人 》



昨年に続き優勝できたことに、本当に嬉しく思います。

去年は、背は低いがスーパーエースがいて、皆をぐいぐい引っ張ってくれました。今年とはび抜けた選手はいませんが、レシーブ、セッター、アタッカーとバランスがとれたチームで、組織力で勝ち切ることができました。

決勝戦では、第2セットを逆転で取られて流れが変わりつつありましたが、第3セットの出だしからサーブで狙う場所を決めて全員にそこへ打たせることで、野沢アローズのエース対小布施6人に持ち込み、最後まで拾い切ることができました。

今年は3年ぶりに全国大会が開催されます。去年の子供たちの思いも胸に、3年前のベスト8以上の成績を残せるよう子供たちをおだてまくり、小布施スポーツ少年団らしく精一杯頑張ります。

最後に、今大会にご尽力頂いた皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

《 豊科JVC監督 丸山文生 》

去年は本大会3位で北信越大会初出場の権利を得ながら、大会が中止となって悔しい思いをしました。

今年は、去年のスタメン3名を軸に構成し、背の高い子は居ない小柄なチームですが『元気良く』『笑顔で』拾って拾ってエースにつなげ』を胸に挑んできました。

今年こそ大会が開催されることを信じ、心残りのまま卒団した3名との約束で県大会優勝を目指しました。



コロナウイルス拡大の影響で思うような練習は出来ませんでした。その中でも感染予防を徹底し、出来るだけのことをしてきたことが今回の結果に結びつき、大変嬉しく思います。それと同時に、チームスタッフ・保護者・選手家族・協会等バレーボール関係者の方々の日頃からのご理解に対し、また今大会開催に携わって頂いた方々にも感謝し、御礼申し上げます。

全国大会が開催されることを信じ、ベストな形で臨めるよう精一杯頑張ってきてますので、これからも応援宜しくお願いいたします。

《 県VESPA代表 臼井秀明 》

今年是新チームに移行した時より「全国大会で優勝する！」と目標を持つ選手たちでした。しかし、コロナ禍により練習を本格的に再開できたのは6月からで、状態ままならない中で全日本バレーボール小学生大会を迎えました。上下伊那ブロック大会・南信大会・県大会を通し、ポジション、フォーメーションで選手を換え、作戦を換え、大変苦戦しながら県大会優勝まで辿り着くことができました。大会期間中、濃密な時間を様々なチームと過ごす中で、確実に個々が成長し、まとまっていく姿が見られました。エース谷口、セッター伊藤を始め、個々の役割を自覚し、戦術を理解して実行しようとする姿勢が決勝戦では見られました。



チーム結成時からの多数の卒業生、保護者、指導者の方々の真心の積み上げによって得た県代表の切符と実感しています。長野県代表に恥じないよう、全国制覇を目指してチーム一丸で頑張ってきます。

最後に今大会にご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。

2022 長野県ソフトバレーボール春季大会(全国予選会)

レディース・シルバー・ねんりんピックの3種別で全国大会出場チームが決定

【ソフト連盟理事長 篠原初男】

6月5日(日)に上田城跡公園体育館に於いて、レディースの部・シルバーの部・ねんりんピックの部の3種別が開催されました。レディースの部には3チーム、シルバーの部には8チーム、ねんりんピックの部には7チーム、合わせて18チームのエントリーとなりました。

↓リバティー

3チームしかエントリーのなかったレディースの部は、総当たり戦で代表を決定しました。その結果、LOOKがリアンとらいでんをそれぞれ2-0で下して優勝しました。LOOKは、10月22日(金)~24日(日)、福島県福島市に於いて開催されます第24回全国レディースフェスティバルに県代表として出場することになりました。



←
L
O
O
K

シルバーの部は8チームの参加でしたので、まず予選を行い、それを勝ち抜いた4チームによる決勝トーナメントで覇を競いました。決勝戦は、リバティーと松代クラブの対戦となりましたが、2-0でリバティーが勝利し、全国大会に駒を進めることになりました。リバティーの出場する第30回全国シルバーフェスティバルは、レディースの部の1週間前、10月18日(金)~20日(日)に高知県高知市で開催されます。



7チームがエントリーしたねんりんピックの部も、最初に予選を行い、それを勝ち抜いた4チームで決勝トーナメントを行いました。決勝戦は、南風がこまちちゃんを2-0で破って優勝しました。南風は11月12日(土)～15日(火)、神奈川県藤沢市で開催される第34回全国健康福祉祭(ねんりんピック)に県代表として出場します。

県代表の各チームの健闘をお祈り致します。

第36回ビーチバレー・ジャパン・第33回全日本ビーチバレー女子選手権大会長野県予選会

男子は上條・佐藤ペア 女子も高山姉妹ペアの松本勢が全国大会へ



【県ビーチ連盟副理事長 小澤光良】

6月26日(日)、駒ヶ根市の森と水のアウトドア体験広場に於いて標記大会を開催致しました。

男子は4チームによるトーナメント戦を行いました。

決勝は、第一シードの上條(松本市)・佐藤(松本大学)ペアと丸山(安曇野市)・赤間(南箕輪村)ペアの対戦となりました。1セット目、序盤から赤間選手の強打と軟打を織り交ぜた攻撃が決まり、終始リードのまま21-15で丸山・赤間ペアが先取しました。2セット目も丸山・赤間ペアが堅い守りからの攻撃でリードする展開となりましたが、中盤から終盤にかけて上條・佐藤ペアのサーブが決まって逆転。上條・佐藤ペアが21-17でこのセットを取り返しました。そして3セット目も、勢いに乗った上條・佐藤ペアの攻撃が冴えて15-8で勝利。上條・佐藤ペアが、セットカウント2-1で全国大会へ

の切符をつかみました。

女子は、高山・高山(松本市)姉妹ペアと中澤・熊谷(松商学園)ペアの2チームでの対戦でした。1セット目、序盤からサイドアウトが続いて均衡したセットとなりました。中澤・熊谷ペアのエンドラインに決めるスパ



Nagano Volleyball Progress Plan 2022 について

【県強化委員 安藤利長】

毎年、県強化委員会の事業として長野県バレーボール指導者育成事業が行われています。この事業は県内バレーボール指導者の資質向上を目指すと共に、指導者相互の連携と交流を図り、ひいては競技人口拡大と競技力の向上を狙うものです。しかし、コロナウイルス感染症の影響で講習会等の事業をここ2年間行うことができていません。本年度も現状では、全県で集まって行う講習を計画することができない状況にあります。しかし強化の歩みを止めないためにも、今後のコロナウイルス感染症の拡大状況を注視し、講習会を開催できるようになりましたら、HP等でご紹介させて頂きたいと考えておりますので、その際は是非ご参加下さい。又、各地区で行われる強化活動についてもサポートしていきたいと考えております。

尚、県内の中学指導者を中心に編集した『バレーボールハンドブック』を今年度も販売しております。内容は、パスやレシーブ、スパイク等の技術面の基本、フォーメーション等の戦術面、トレーニングや栄養学など幅広くバレーボールに関わるものが掲載されております。中学からバレーボールを始めた初心者や小学校からの経験者、指導者等、誰が読んでも技能の向上に役立つ内容に仕上がっております。購入を希望される方は、下記の各地区責任者にご連絡下さい。

- 《 北信地区の方 》 駒村 有紀 (飯綱中学校) 学校Tel 026-253-2244
- 《 東信地区の方 》 羽入田拓磨 (上田第五中学校) 学校Tel 0268-22-3076
- 《 中信地区の方 》 立花法真沙 (筑摩野中学校) 学校Tel 0263-58-2071
- 《 南信地区の方 》 堀内 英司 (下諏訪中学校) 学校Tel 0266-27-3000

又、上記の件に関するお問い合わせは下記にお願い致します。

- (一財) 長野県バレーボール協会 強化委員 安藤利長 (千曲市立戸倉上山田中学校)
学校Tel 026-275-0069

令和4年 国体 少年の部 選手選考結果

【県強化委員長 鏡味照明】

6月6日高校総体県予選会終了後、国体県選抜チームの選手選考会が開催され、以下の選手が選考されました。まずは北信越ブロックを勝ち抜き、栃木国体への出場権を獲得することを期待します。

【男子】							
監督	壬生 裕之	松本国際高校		リザーブ			
1	近藤 悠斗	3年	松本国際高校	1	宮林 舞央	3年	岡谷工業高校
2	水口莉玖哉	2年	松本国際高校	2	清水 滝斗	1年	岡谷工業高校
3	徳留 功大	2年	松本国際高校	3	竹松 魁柊	2年	岡谷工業高校
4	椿 大和	2年	松本国際高校	4	岡本 亨介	1年	岡谷工業高校
5	小金 葉	3年	松本国際高校	5	小山 洸	2年	岡谷工業高校
6	田上 志真	3年	松本国際高校	6	井口 真一	1年	岡谷工業高校
7	勝山 裕太	3年	松本国際高校	7	春日虎太郎	2年	岡谷工業高校
8	飯川 凜音	3年	松本国際高校	8	竹内 優汰	2年	岡谷工業高校
9	山岡 優真	3年	松本国際高校	9	菊池 那旺	3年	岡谷工業高校
10	石田 桜大	3年	松本国際高校	10	大日方優将	2年	岡谷工業高校
11	曾根原大翔	3年	松本国際高校	11	福崎 隼平	2年	岡谷工業高校
12	小林 智哉	1年	松本国際高校	12	デファウチ エンゾ	1年	岡谷工業高校

【女子】							
監督	今井 一仁	都市大塩尻高校		リザーブ			
1	伊藤 采音	3年	都市大塩尻高校	1	松村 明莉	3年	東海大諏訪高校
2	上村 香苗	3年	都市大塩尻高校	2	小林 夕夏	3年	東海大諏訪高校
3	五十嵐乃彩	3年	都市大塩尻高校	3	小林 千夏	3年	東海大諏訪高校
4	黒河内美羽	3年	都市大塩尻高校	4	平林 七虹	3年	東海大諏訪高校
5	市川 早彩	2年	都市大塩尻高校	5	小林 美紅	3年	東海大諏訪高校
6	西木戸 カミラ 歩美	2年	都市大塩尻高校	6	小椋星里奈	2年	東海大諏訪高校
7	北村 萌恵	2年	都市大塩尻高校	7	清水 実結	3年	東海大諏訪高校
8	中澤 柚月	2年	都市大塩尻高校	8	小澤 歩純	3年	東海大諏訪高校
9	飯島茉優樹	2年	都市大塩尻高校	9	宮下 寧々	2年	東海大諏訪高校
10	櫻井 心	2年	都市大塩尻高校	10	大森 菜央	2年	東海大諏訪高校
11	朝倉 凜	3年	都市大塩尻高校	11	伊東由希奈	2年	東海大諏訪高校
12	清水 世奈	2年	都市大塩尻高校	12	寺島 百香	2年	東海大諏訪高校

JVA加盟団体代表委員総会

ガバナンス強化へ向け、全加盟団体が法人化へ！

【県協会専務理事 村上里志】

6月30日（木）オリンピックミュージアム（JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE）にて、47都道府県協会・ブロック連盟・各連盟また準加盟団体も参加して、公益財団法人日本バレーボール協会加盟団体代表委員総会が開催されました。

冒頭、河合俊一会長より、大阪府協会の不祥事に関わる記者会見について説明があった後、徹底したガバナンス強化のため、JVA全加盟団体の法人化を推し進めるとの所信表明がありました。そのために、JVAとして各加盟団体への物心両面での支援を厭わないとの力強いメッセージも発信されましたが、前日の不祥事記者会見の余韻が残る中、緊張感のある総会となりました。

本会からは村上が出席しましたが、今後も更なるガバナンスの強化を図っていかねばならないと決意を新たにした次第です。



6 月 試 合 結 果

- ☆ 第 75 回全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会 県予選会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.6.6_koko_sotai.pdf

- ☆ 第 58 回北信越高等学校バレーボール選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.6.19_koko_sotai_hokusinetu.pdf

- ☆ 第 77 回国民体育大会（成年の部）県予選会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.6.12_kokutai_seinen.pdf

- ☆ 第 22 回日本スポーツマスターズ 2022 バレーボール競技県予選会 **中止**

- ☆ 第 21 回全国社会人東ブロック男女優勝大会 **中止**

- ☆ 第 36 回ビーチバレージャパン 県予選会／第 33 回全日本ビーチバレー女子選手権大会 県予選会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.6.26_beach_japan.pdf

- ☆ 第 42 回全日本バレーボール小学生大会 県予選会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.6.26_syogakusei.pdf

- ☆ 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 長野県ラウンド
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.6.26_tennohai.pdf

7 月 スケジュール

7/2(土)	ビーチバレーボールクリニック<講習会> (高校生対象)	(駒ヶ根市)
7/3(日)	第 21 回全日本ビーチバレーボールジュニア男子選手権大会 県予選会 ‘22 マト’ンカップ in 伊予市ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会 県予選会	(駒ヶ根市)
7/3(日)	長野県ソフトバレーボール夏季大会	(大町市)
7/8(金)	第 82 回国民スポーツ大会 中央競技団体正規視察に係る第 2 回打合せ会議	(松本市)
7/10(日)	令和 4 年度 第 1 回長野県 6 人制OB・OG交流大会	(千曲市)
7/10(日)	第 77 回 国民体育大会ビーチバレーボール競技会 男子 2 人制／女子 2 人制 長野県予選会	(駒ヶ根市)
7/16(土)～17(日)	第 72 回中部日本 6 人制総合男女選手権大会	(岐阜県)
7/16(土)～18(月)	全日本 9 人制実業団男子女子選手権大会	(福岡県)
7/17(日)	北信越連盟 正副理事長会議	(岐阜県)
7/17(日)～18(月)	第 52 回全日本中学校選手権大会 県予選会	(松本市)
7/23(土)	県協会 ジュニアクラブチームに関わる情報交換会	(WEB)
7/23(土)～24(日)	第 35 回北信越小学生バレーボール大会	(福井県)
7/25(月)～26(火)	第 82 回国民スポーツ大会 中央競技団体正規視察 (バレーボール)	(松本市他)
7/28(木)～31(日)	第 41 回全日本 6 人制クラブカップ女子選手権大会	(山形県)
7/29(金)～8/1(月)	全国高等学校総合体育大会 女子バレーボール競技大会	(徳島県)
7/31(日)	KOMAGANE CUP 第 4 回ビーチバレー中学生大会	(駒ヶ根市)
7/31(日)	第 25 回 全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会 県予選会	(阿智村)